

情報提供日	令和4年（2022年）7月25日（月）
問い合わせ先	広島市植物公園 管理課 久保、富澤 栽培・展示課 島田、高井、濱谷 TEL 082-922-3600

総理大臣の名がついたラン をいただきました

シンガポール政府が日・シンガポール間の友好関係を記念して、「デンドロビウム キシダ フミオ (*Dendrobium Kishida Fumio*)」と命名した新種のランを本園が受領しました。

この新種のランは、令和4年6月11日（土）、岸田文雄内閣総理大臣のシンガポール訪問に際して、シンガポール政府によって同国国花であるランの新種に名を付ける「蘭の命名式」にて献名されたものです。親株はシンガポール国立植物園に飾られていますが、株分けされた株の一部を、岸田総理大臣出身の広島市にある本園が受領し、栽培することとなりました。

現在、栽培温室（一般非公開）にて株の育成を図っており、新しい芽が伸びつつあります。開花時には一般公開エリアで展示・紹介する予定です。



シンガポールでの「蘭の命名式」の様子（写真提供：官邸広報室）



現在の株の様子（栽培温室）

デンドロビウム キシダ フミオ (*Dendrobium Kishida Fumio*) について

ラン科デンドロビウム属(デンドロビウム・ファレノプシス系)の新種(人工交配種)。交配親は *Dendrobium Kiyoshi Blue* × *Dendrobium violaceoflavens*。長さ約 50 cm の花茎に 5 cm 程度の花を約 20 輪つける。紫色（ベルベットパープル）の唇弁と花弁、紅紫色（マゼンタ）に薄ピンクの縞模様が入ったがく片がこのランの特徴。

広島市植物公園について

昭和 51（1976）年開園。園内では約 1 万品種 20 万株の植物を栽培。ラン科植物の収集・栽培・展示に力を入れており、日本植物園協会の植物多様性拠点保全園（ラン科・中国地方）にも登録されています。